

教育子午線

Kyoiku-Shigosen

February
2008

●教育最前線

新しい 学習指導要領の 理念と課題

●研究レポート

文化創造としての 和文化教育の構築と教材開発

●私たちの先生

鈴木正敏准教授 (基礎教育学系)

●キャンパス通信

●うれしの交差点

加東市「留学生人材バンク」

兵庫教育大学は昨年11月に文部科学省の正式認可を受け、平成20年4月から教職大学院を開設します。本学の教職大学院

は、大学院学校教育研究科に新しく専門職学位課程教育実践高度化専攻として設置するもので、定員は100人。今回認可された全国19の教職大学院の中で最も大きな規模となります。

教職大学院には「学校経営コース」「授業実践リーダーコース」「心の教育実践コース」「小学校教員養成特別コース」の4コースを設けます。

学校経営コースでは、学校づくりをリードする校長や副校長、教頭などの学校経営専門

職、学校を支援する教育行政専門職を養成し、高度な実践力と深い教育的見識に支えられた経営力の育成をめざします。

授業実践リーダーコースでは、主に教科における優れた教育実践力を備え、教育現場が抱える複雑かつ多様な諸課題の解決にリーダーシップを発揮し、積極的に実践改革に取り組める教員を養成します。

心の教育実践コースでは、道徳教育や進路指導、生徒指導など教科外教育として位置付けられている教育活動を対象とし、心の教育に取り組むための実践的力量を高め、学校現場での心の教育実践プログラムの開発・実

平成20年4月から教職大学院を開設します

施・評価にリーダーシップを発揮できる教員を養成します。

小学校教員養成特別コースでは、小学校の教員免許状を持つていないが、将来は小学校教員に就きたいと考えている人を幅広く受け入れます。このコースは長期

在学制度を活用した3年制で、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を持つ新しい学校づくりの担い手となる教員の養成をします。修了時には小学校教員専修免許状を取得できます。また、授業実践リーダーコースと心の教育実践コースは神戸サテライトでの夜間クラスも開設します。

この4コースによって学校教育

に関する幅広い分野をカバーします。コースごとに養成する教師像を明らかにして、教員のライフステージにおけるキャリア発達に即したカリキュラムの創意工夫を凝らします。



教職大学院の開設は平成20年に創立30年を迎える兵庫教育大学の未来への第一歩です。

理事・副学長 **勝野真吾**

10月

- 1日
◎創立記念日
- 2日~11月6日
◎公開講座「身近な言葉を探る～地域と時間の観点から～」(全6回)
- 5日
◎広東省訪問団来学
- 6日
◎附属幼稚園運動会



- 6日~12月15日
◎公開講座「思春期青年期の『こころ』を考える」(全9回)
- 10日~12日
◎附属小学校5年生林間学校



- 19日
◎附属中学校研究発表会
- 20日、11月3日・17日、12月8日
◎大学院学校教育研究科説明会(神戸)
- 24日
◎附属幼稚園研究発表会

11月

- 3日
◎公開研究授業
- 9日
◎附属小学校附小っ子コンサート
- 10日
◎附属中学校「友嬉祭」
- 11日
◎加西市との連携協定記念特別公開講座「子育て・キラリ」
- 17日・18日
◎大学祭「嬉望祭」



- 20日~22日
◎附属小学校6年生修学旅行
- 27日・28日
◎大学院学校教育研究科オープンキャンパス
- 30日
◎西脇市との連携協定記念特別公開講座「『かしこいからだ』に育てよう」

12月

- 1日
◎大学院学校教育研究科説明会(大阪、東京)
- 14日
◎附属小学校マラソン大会
- 15日
◎附属幼稚園クリスマスコンサート
- 20日
◎附属幼稚園第2学期終業式
- 21日
◎附属小学校、中学校第2学期終業式

1月

- 8日
◎附属小学校、中学校第3学期始業式
- 10日
◎附属幼稚園第3学期始業式
- 12日・13日
◎大学院学校教育研究科入学者選抜試験(後期)
- ◎教職大学院入学者選抜試験
- 19日・20日
◎平成20年度大学入試センター試験
- 24日
◎大学院学校教育研究科入学者選抜試験(後期)合格者発表
- ◎教職大学院入学者選抜試験合格者発表
- 29日
◎学部推薦入学者選抜試験
- 31日・2月1日
◎附属小学校研究発表会

【目次】

- 04 教育最前線
新しい学習指導要領の理念と課題
- 08 研究レポート
文化創造としての
和文化教育の構築と教材開発
中村 哲(社会・言語教育学系教授)
- 09 教育時事一問一答
教員の著書紹介
- 10 私たちの先生
鈴木正敏准教授(基礎教育学系)
- 11 卒業生からの手紙
- 12 キャンパス通信
- 14 うれしの交差点
人材バンクが懸け橋となって
留学生と市民との交流を促進します
加東市「留学生人材バンク」
- 16 兵庫教育大学からのお知らせ

ちよっといひ話

研究棟の洗面所や玄関に花を飾る
大学院修士課程2年O.Aさん

1年前、ある授業で「兵教大をより良くするためにどんなことをしようか」というテーマで議論する機会があり、ちょうど余っていた院生室の花を研究棟の洗面所や玄関に置いてみました。最初は空き瓶やコップ、皿に1、2種類の花を挿していたのが、今では花を加えてくれたり、花を固定するためにビー玉を入れてくれたり、花瓶を寄贈してくれたりする協力者も増えてきました。この1年で多くの花の名前を覚えまし、何よりも心が豊かになったような気がします。



February, 2008

新しい学習指導要領の理念と課題

昨年11月、中央教育審議会が学習指導要領の改訂に向けて「審議のまとめ」を示し、今年2月、新しい学習指導要領が正式に公表されます。今回の改訂では、小・中学校で国語、算数・数学、社会、理科、英語、体育の授業時間が増えることが決まり、多くの教科で新たな学習内容が加わります。

◎TEXT



梶田 敬一
兵庫教育大学学長
中央教育審議会教育課程部会長

確かな学力、豊かな心、
健やかな体が一体となった
子どもの育ちを

中央教育審議会（中教審）の教育課程部会では、学校教育の現状に対し「このままでは…」という危機感を持ちつつ、教育内容の改善を通しての学校改革について検討を続けてきました。

そして、昨年11月に学習指導要領の改訂に向けてのたたき台となる「審議のまとめ」を発表。それに対する国民の意見を踏まえ、今年1月17日に「中央教育審議会答申」というかたちで小・中・高校の新しい学習指導要領の概要を公表しました。

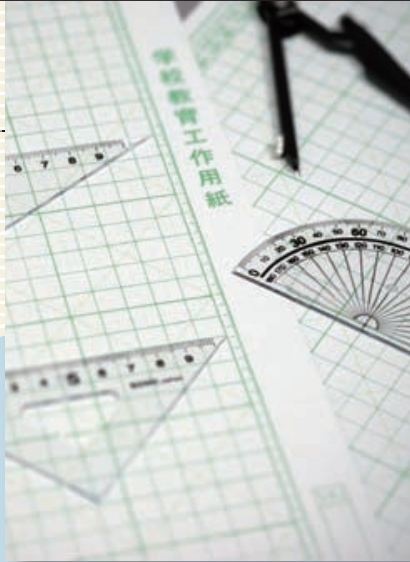
新学習指導要領では、これからの学校教育では「習得」「活用」「探究」の力からなる〈確かな学力〉を、そしてそれを基

盤とした〈生きる力〉を育成すべきであるとし、〈確かな学力〉は内省の力や規範意識などの道徳心、芸術的な感性などの〈豊かな心〉に裏打ちされなくてはなりませんし、その土台には〈健やかな体〉の育成が不可欠です。

こうした三位一体的育ちを図っていくことを通して、子ども一人一人に個性的で全人的な成長を実現し、社会に出て自らの人生を生きていく上でも基盤となる〈生きる力〉が身に付くようにしよう、というのです。

主要教科の授業時間は
ほぼ元の水準に
小学校では古典の学習も

新学習指導要領では、あらゆる学習の基礎となる「言葉の力」の涵養、国際的



◎学習指導要領とは

小・中・高校などで教えるべき標準的な学習内容や授業時間を示した省令で、文部科学相が諮問機関の中央教育審議会(中教審)からの答申に基づいて告示します。昭和22年に最初の試案が発表されて以来、約10年ごとに見直されてきました。学習指導要領の改訂には、まず、中教審教育課程部会がたたき台となる「審議のまとめ」を提示。その後、一般からの意見も考慮したものが新学習指導要領として公表されます。今年2月に公表される新学習指導要領は、周知や教科書の執筆、検定に時間を要するため、早くて平成23年度からの施行になる予定です。

※新学習指導要領では、最低基準の授業時間数と学習内容を示すものと性格付けられます。



水準から遅れてしまった「理数系学力」の回復、わが国の先人が積み重ねてきた「伝統文化」の継承、今の子どもに欠けがちな自然体験や福祉体験、勤労体験など「多様な体験」の導入、国際化の進展に伴う「小学校からの英語学習」の実施などに特別な配慮がはられます。

全体の授業時間数も増え、特に現行の学習指導要領で大幅に減らされてしまった国語や算数・数学、理科などの授業時間がほぼ元の水準まで回復します。また、10年前に削られた各教科の大事な内容もかなりの程度まで復活します。これと同時に、小学校では新たに国語科にやさしい古文や漢詩・漢文が入ったり、中学校の体育科でダンスと武道が男女とも必修になったり、高校の理科などで科目構成が変わったりします。

学校教育に緩みと弛みをもたらした(ゆとり教育)は、平成12年の教育改革国民会議報告で実質的な終止符が打たれ、翌13年から着実に軌道修正が図られてきました。学習指導要領の性格付けも「標準」から「最低基準」へと変わり、学校の自主的な取り組みをより一層重視するものとなっていることを付言しておきます。

◎「審議のまとめ」が示した年間授業時間

小学校								中学校				
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		1年	2年	3年	合計
国語	272	280	235	235	180	175	1377	国語	140	105	105	350
	306	315	245	245	175	175	1461		140	140	105	385
社会	-	-	70	85	90	100	345	社会	105	105	85	295
	-	-	70	90	100	105	365		105	105	140	350
算数	114	155	150	150	150	150	869	数学	105	105	105	315
	136	175	175	175	175	175	1011		140	105	140	385
理科	-	-	70	90	95	95	350	理科	105	105	80	290
	-	-	90	105	105	105	405		105	140	140	385
生活	102	105	-	-	-	-	207	外国語	105	105	105	315
	102	105	-	-	-	-	207		140	140	140	420
音楽	68	70	60	60	50	50	358	音楽	45	35	35	115
	68	70	60	60	50	50	358		45	35	35	115
図画工作	68	70	60	60	50	50	358	美術	45	35	35	115
	68	70	60	60	50	50	358		45	35	35	115
家庭	-	-	-	-	60	55	115	保健体育	90	90	90	270
	-	-	-	-	60	55	115		105	105	105	315
体育	90	90	90	90	90	90	540	技術・家庭	70	70	35	175
	102	105	105	105	90	90	597		70	70	35	175
道徳	34	35	35	35	35	35	209	道徳	35	35	35	105
	34	35	35	35	35	35	209		35	35	35	105
特別活動	34	35	35	35	35	35	209	特別活動	35	35	35	105
	34	35	35	35	35	35	209		35	35	35	105
総合的な学習の時間	-	-	105	105	110	110	430	選択教科等	0~30	50~85	105~165	155~280
	-	-	70	70	70	70	280		-	-	-	-
外国語活動(仮称)	-	-	-	-	-	-	-	総合的な学習の時間	70~100	70~105	70~130	210~335
	-	-	-	-	35	35	70		50	70	70	190
合計	782	840	910	945	945	945	5367	合計	980	980	980	2940
	850	910	945	980	980	980	5645		1015	1015	1015	3045

上段が現行、下段(太字)が改訂案

各教科・領域の担当教員が 新しい学習指導要領を分析

新しい学習指導要領は習得、活用、探究を大切に、限られた時間数と教科体系の中でさまざまな要素を取り入れたもので、総合的な学力を身に付けることがより重視されています。兵庫教育大学の各教科等の担当教員が小・中学校の新しい学習指導要領について、改訂ポイントと独自の見解を示します。

国語

堀江祐爾教授(社会・言語教育学系)

改訂ポイント

◎「言語事項」が「言語文化と国語の特質に関する事項」に変わる／新しい事項にある「我が国の言語文化に親しむ態度を育成する」には小学校での「古典指導」も含まれる
◎「国語の特質」に関する学習指導が求められる／例えば「話し言葉と書き言葉の働きの違い」について考えたり、「日本語の表記法の特徴」について理解したりするといったものになるであろう

私の見解

「PISA型読解力」の枠組みである情報の取り出し・解釈・熟考・評価は、「文脈の中における語句の意味を的確にとらえる」「心情や場面の描写をとらえる」「自分の考えをまとめることができる」といったように、和風アレンジされて示されることになるでしょう。これまでの「読むこと」に関する学習指導の否定ではないことに注目したいと思います。

算数・数学

崎谷真也教授(自然・生活教育学系)

改訂ポイント

◎復活教材と新規教材
◎算数・数学的活動の具体例
◎中学校の内容領域の変更

私の見解

現在、算数・数学学習に対して好ましくない感情を抱えている児童生徒が多いことが最も危惧すべき点です。児童生徒の感情を好転させる方が新学習指導要領に明確化されているとは思いませんが、教員には夢と希望を持って方策を模索してほしいです。

社会

米田 豊教授(社会・言語教育学系)

改訂ポイント

◎小学校／自然災害、社会の情報化の様子、世界を捉える枠組みの基礎に関する

理科

松本伸示教授(自然・生活教育学系)

改訂ポイント

◎「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」などを柱とした内容の構造化
◎科学的な思考力などの育成をめざし、観察や実験の結果を整理、考察する学習活動の充実
◎観察や実験、自然体験などの一層の充実
◎理科の意義や有用性を実感し、関心を高めるため、実社会、実生活との関連を重視

私の見解

今回の改訂ポイントは言語活動、伝統や文化に関する教育、体験活動の充実にあります。言語力は社会現象を記述、説明、判断する学習過程で育成したいものです。伝統文化の学習は伝承だけに力点を置かず、社会の仕組みとともに学ぶことが重要です。体験活動は授業目標との整合性を大切に、「活動あって学びなし」とならないよう意図的に組み込む必要があります。

生活

關 浩和教授(社会・言語教育学系)

改訂ポイント

◎自分の可能性や成長についての認識を深め、気付きを質的に高める

私の見解

今回の改訂は理数科の充実が強く意識されており、基礎・基本的な知識や技能を身に付けさせる教材研究がより重要となるでしょう。また、知識や技能の習得にとどまらず、それらを実生活で活用するためなどのような場面を設定するかを研究しなければいけません。現在、弱点とされる科学の有用性の実感や関心の向上につなげたいものです。

図画工作・美術

福本謹一教授(体育・芸術教育学系)

改訂ポイント

◎教科目標／感性を働かせて生活の中の形や色などにかかわる態度が加わった
◎学年目標／育てたい資質や能力を整理した形で示された
◎内容／資質や能力、知識、技能から整理された
◎教科目標／生活の中の美術の働きや美術文化についての理解に関する内容が加わった
◎学年目標／評価の4観点との整合を考慮して変更された
◎内容／A表現では領域別に示されていた「創造的技術をつにまよめ」「発想・構想」の観点とに分けて整理した
◎内容の領域、項目、指導事項に通底する資質・能力が共通事項として示された

私の見解

今回の改訂は、内容を資質能力の観点から整理したこと、共通事項を示して指導の充実
◎科学的な見方、考え方の基礎を養う学習活動の充実
◎児童を取り巻く環境の変化を考慮し、安全教育や生命の尊厳を実感する学習活動の充実
◎他教科への円滑な接続と幼児教育との連携、異年齢での教育活動の推進

社会

米田 豊教授(社会・言語教育学系)

改訂ポイント

今回の改訂は、内容を資質能力の観点から整理したこと、共通事項を示して指導の充実
◎小学校／自然災害、社会の情報化の様子、世界を捉える枠組みの基礎に関する

導の改善につなげようとしたことが特徴です。表現においては主題生成の課題を全面に押し出したこと、鑑賞学習においては教育基本法の影響もあって伝統、文化の継承や価値意識をもった批評が重視されましたが、造形遊びの見直しや基礎的指導の習得、活用の扱いについては課題も残されました。

音楽

岡本信二准教授(体育芸術教育学系)

改訂ポイント

◎音楽の良さや楽しさを感じるとともに、思いや意図を持って表現したり、味わって聴いたりする力を育成する

◎創作活動を充実させるため、小学校では音楽づくり、中学校では作曲を行う

◎鑑賞活動は音楽の面白さ、良さ、美しさなどを感じ取れるようにするとともに、自分なりに根拠を持って批評できるように、自ら思考・判断する力の育成を二層重視する

◎我が国や郷土の伝統音楽の指導が一層充実して行われるようにする

私の見解

教科再編の動向を反映した今回の改訂は「音楽を愛好する」や「感性」などの用語を中心とした伝統的な目標は継承されながらも、思考力や判断力の育成が全教科に盛り込まれました。音楽科では自分の感性の根拠を問うような批評力の育成を示す内容が初めて導入されたり、創作に重点が置かれたりと、これまでの名曲主義や権威主義の教材観を打破する画期的な授業が構想されていくと考えられます。

家庭

永田智子准教授(自然・生活教育学系)

改訂のポイント

◎学習内容の継続・発展のため、小・中学校での目標や内容が体系化される

◎家庭や家族に関する教育、子育て理解のための体験、高齢者との交流をより重視する

◎健全な食生活のための食育や、社会に

において主体的に生きる消費者としての教育を充実させる

私の見解

これまで以上の充実を期待されている領域もありますが、時間数や取り扱う内容に大きな変更はありません。ただ、自己と家庭、家庭と社会とのつながりを重視しながら、生涯の見通しを持ってより良い生活を送るための実践力を育成するため、学校段階に応じた体系的な目標や内容に整備されます。そのため小・中・高校での積み上げや連携が必要となります。

体育・保健・体育

高田俊也准教授(体育芸術教育学系)

改訂ポイント

小学校

◎基礎的な身体能力を身に付けるための体づくり運動を行う

中学校

◎武道とダンスが必修化され、保健の領域で医薬品に関する内容を取り上げる

◎武道には伝統や文化に関する教育を充実させる意味もある

私の見解

今回の小・中学校の改訂は、高校卒業後の生涯体育スポーツの一層の充実を図るものでもあります。基礎的な身体能力を身に付けることは技能にかかわって、いわゆるスポーツにつながる感覚をつかむ運動などの遊びの重要性を指摘するもので、系統性がより重視される内容です。また、知識の学習も必要とされ、これまでは「できる子」が「できない子」に教えるということが常でしたが、これからはその逆も可能になるはずですが。

総合的な学習の時間

佐藤 真教授(基礎教育学系)

改訂のポイント

◎「育てたい力」の明確化/例示の視点は、学習方法に関する点、自分自身に関する点、他者や社会とのかかわりに関すること。ただし、具体については、各学校で

設定する

◎発達段階に応じた内容の整理/例えば、小学校では地域の文化や伝統に関する学習活動、中学校では仕事や自己の将来を考える学習活動などを加える

◎各教科や特別活動との関係の整理/教科横断的・総合的な学習を行うことをより明確にする

私の見解

今後は、自分自身と他者、社会とのかわりに関する認識が、日常生活における課題を発見し解決するなど、実社会や実生活とのかかわりに関する「知」を児童生徒の側面に凝縮させる「探究型学習」が求められる。

道徳

淀澤勝治准教授(基礎教育学系)

改訂ポイント

◎学校や学年の段階ごとに道徳教育で取り組むべき重点を明確にする

◎幼児期や高校段階での改善を視野に入れたつ、より効果的な教育を行うために小学校と中学校の指導の重点や特色を明確にする

◎学校全体で取り組む道徳教育の実質的な充実を図る観点から、道徳教育の推進体制等の充実を図る

◎児童生徒の道徳性の育成に資する体験活動をより推進するとともに、学校と家庭、地域社会が共に取り組む体制や実践活動の充実を図る

私の見解

道徳の教科化の議論を契機に、いまだ一度「道徳の時間」の意味を再考し、指導者側の意識改革を図る必要があるでしょう。とりわけ、健全な自尊感情をいかに育てて、規範意識を再構築していくかが課題となります。学級内、学校内で規範の合意をめざした話し合い活動に力を入れていかななくてはなりません。また、幼稚園、小・中・高校のそれぞれで取り組むべき重点の

明確化が必要でしょう。

特別活動

佐藤 真教授(基礎教育学系)

改訂ポイント

◎特別活動の特質を踏まえ、特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度、自治的能力の育成を重視する

◎体験活動 生活を改善するための話し合い活動、多様な異年齢集団での活動を二層重視する

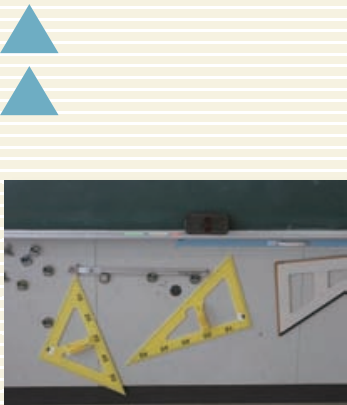
◎小学校の学級活動は、学級や学校の生活づくり、日常の生活や学習への適応および健康安全の内容で構成する

◎中学校の学級活動は、学級や学校の生活づくり、日常の生活や学習への適応および健康安全、学業と進路の内容で構成する

◎学校行事は、奉仕体験、就業体験、文化的な体験などの体験活動を重視する

私の見解

現在、わが国では小1プロブレムや中1ギャップなどの集団への不適応、生活体験の不足や人間関係の希薄化などが大きな問題とされています。特別活動は、学校生活の満足度や楽しさのためだけでなく、今後は情報化、都市化、少子高齢化など社会状況の変化に主体的・創造的に対応するための力を児童生徒に確実に届くための活動が求められます。





なかむら かつ
中村 哲
社会・言語教育学系教授

研究 レポート

このページでは日本学術振興会の科学研究費補助金を受けた研究を紹介し、科学研究費補助金とは、すべての分野の「学術研究」を格段に発展させることを目的に、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。基盤研究、萌芽研究、若手研究に分かれており、基盤研究は1人または複数で行う研究が対象。研究期間は2～4年です。

◎全国的主要な和文化教育実践校

小学校	
東京都足立区立長門小学校	伝統・文化理解教育カリキュラム
東京都日野市立日野第三小学校	伝統・文化理解教育カリキュラム
徳島県藍住町立藍住西小学校	藍の学習
京都府ノートルダム学院小学校	茶道
中学校	
埼玉県小鹿野町立長若中学校	歌舞伎
広島県東広島市立向陽中学校	和文の学習カリキュラム
高校	
東京都立大島南高校	大島の地域文化
兵庫県立西宮高校	アニメーション
兵庫県立御影高校	落語
兵庫県立明石北高校	衣文化
兵庫県立神崎高校	寺社建築
兵庫県立篠山産業高校東雲校	狂言

「和文化教育」という用語が教育実践や教育研究で用いられるようになってきたのは、平成13年度に「日本の文化的意味に根ざした豊かな人間形成と国際社会における日本文化の創造を図る高度な専門性を有する教師教育」を目的に作成された「兵庫教育大学専門大学院構想に関する報告書」で和文化教育が提唱されてからです。その後、学内の教員を中心に和文化教育研究会が

文化創造としての和文化教育の構築と教材開発

(平成18～20年度科学研究費補助金・基盤研究Cに採択)

発足し、15年に「和文の風」を学校に中心技体の場づくり——(明治図書)を刊行。17年には全国組織として「和文化教育研究交流協会」が設立され、和文化教育の実践と研究が推進されています。私も昨年度から科学研究費補助金の援助を受け、和文化教育の研究に取り組んでいます。

和文化教育とは日本の生活、地域、伝統の文化に基づく教育であると捉えています。これまでの愛国心や郷土愛を形成する伝統と文化を大切にすることを包括し、和文自体の価値を心技体の場において継承し、発展させる文化創造アプローチとしての教育を意図しています。さらに、和文の「和」には「調和」と「平和」も含まれています。調和は自然と人間、人間同士、自己の心と体が和する状態を意味します。平和は国内外において戦争のない状況を意味し、文化創造の基盤となります。研究目的は日本の生活文化、地域文

→徳島県・藍住西小学校5年生による藍染めの共同作品。保護者、藍染めの関連施設などの支援を受け、全校を挙げて藍の学習に取り組んでいます。



↑埼玉県・長若中学校の歌舞伎。小鹿野歌舞伎発祥の地にある学校として、総合学習で取り組んでいます

化、伝統文化に基づく授業実践を手がかりに5事項を設定しています。

- ①日本の生活文化、地域文化、伝統文化に基づく授業実践に関するデータベースを開発する
- ②日本の生活文化、地域文化、伝統文化に基づくモデル授業実践を撮影し、デジタル映像記録を作成する
- ③日本の生活文化、地域文化、伝統文化に基づくモデル授業実践についての分析的研究方法によって授業実践の規則性を解明する
- ④日本の生活文化、地域文化、伝統文化に基づく社会科と総合学習のカリキュラム、授業実践(教材)を文化創造としての和文化教育の観点から開発的

芸、茶道など多彩な授業が行われていることが分かりました【表参照】。しかし、これらの授業に対しては「愛国心」や「郷土愛」の価値や態度の在り方を教え込んでいくという批判がなされます。その意味では、偏った自国理解に陥る危険を克服することが和文化教育の課題になります。

この課題に対応するため、日本人のあるべき姿や資質を前提とする教材ではなく、文化価値自体の理解や関与を目標とし、過去から伝承されてきた伝統や文化を現在の生活文化と関連づけ、新たな文化活動を創造する文化連関の展開に基づく教材開発に取り組んでいます。

研究方法によって具体化を図る

- ⑤開発したモデル授業案に基づく実験、実証的研究方法によって教材構成と学習指導方法を評価。研究成果を刊行する

①～⑤の研究目的に基づいて、和文化教育に関連する学校の教育実践を訪問調査したところ、各地で食文化、衣文化、住文化、能楽、歌舞伎、文楽、伝統工



Q 昨春の「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」は何の目的で行われ、その結果はどのように活用されているのでしょうか。



「全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)」は昨年4月に実施され、10月にその結果が公表されました。調査科目は国語と算数・数学、対象は全国の小学6年生と中学3年生です。中学校では43年ぶりに、小学校では初めて実施されました。

全国学力テストには主に3つのねらいがあります。1つめは「学習指導要領」に基づく小・中学校での学習指導の成果を測定し、その成果に影響を及ぼしている学習環境などの諸条件について調査すること。2つめは、児童生徒の発達に即して構成される教科の基礎・基本となる学力

と将来社会からの要請に応える学習成果の応用・活用につながる学力を測定すること。3つめは、教育基本法や学校教育法の教育目標などに由来する教育に関する目標管理行政の充実と改善に資する情報・資料を得ることです。

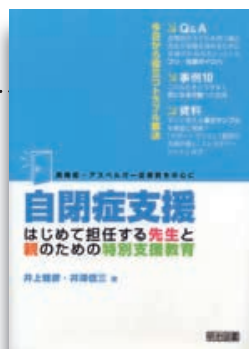
10月に公表された調査結果はテスト成績の概要の速報値であり、今後、都道府県別、市町村別の結果分析、学校ごとの教育実践の見直しなどを通して、教育行政・施策、学校環境や学習支援体制、教育課程、教員の指導資質能力の在り方などに関する課題と対応の可能性が探られるものと期待されています。



なが さわ のり やす
長澤憲保
基礎教育学系教授

教員の 著書紹介

Books



自閉症支援

はじめて担任する先生と親のための特別支援教育

(明治図書・平成19年刊)

著者：井上雅彦(臨床・健康教育学系准教授)
井澤信三(臨床・健康教育学系准教授)

本書は、高機能自閉症やアスペルガー障害のある児童生徒を初めて担任する教員と保護者が互いに信頼関係を深めていくコツをQ&A形式で分かりやすく書いたものです。

また、気になる行動についての支援方法、すぐに役立つ「個別の支援計画」「サポートブック」「ストラテジーシート」などの書式も豊富に掲載しています。大学での臨床研究に基づいた基礎から応用までの知識や技術を幅広く学べる内容です。

※教員の著書は附属図書館で閲覧できます。詳しくは学術情報課☎0795・44・2062へ問い合わせください。



HOPE

中高生のための英語スピーキングテスト

(教育出版・平成19年刊)

編著：今井裕之(社会言語教育学系准教授)、吉田達弘(社会言語教育学系准教授)
著者：兵庫教育大学HOPE開発プロジェクト

近年、英語のスピーキングテストは多数開発されていますが、学校現場で実施できるテストとなると少ないものです。平成15年に言語系の大学院生らとのスピーキングテストの開発に始まり、多くの中学校・高校での試行や英語教員研修会でのワークショップを経て完成した本書は、面接型のスピーキングテストの解説書です。4観点7段階の評価尺度で生徒のスピーキングを総合的に評価する形式なので、測定手段であるとともに、生徒の発話を効果的に引き出す授業活動のデザインのガイドラインとしても役立ちます。

広い視野で教育を捉え 子ども理解が深められます



私たちの先生

鈴木正敏 准教授
基礎教育学系



ゼミの第一声は決まって「元気？」。

いつもゼミ生に温かい言葉を掛けてくださる鈴木正敏先生は、小学校教員をめざす私たちにいろいろな視点から物事を見ること、考えることを

指導してくださいます。

現在、私たちは先生の専門である幼児教育分野をはじめ、多くの課題解決に取り組んでいます。そこには小学校教育の観点とは、また違ったものがあります。子どもとふれあう中で生じる問題点や疑問に対して、鈴木先生は的確な改善策と新たな課題を与えてくださいます。課題の解決方法を知るたびに新たな見方が広がり、次に子どもと接する時にはそれまでとは違う視点で子ども理解を図れます。見方を変えるだけでこれだけ世界が違ってくるのかと驚くことも多いです。

ゼミでは、みんなでさまざまな課題について考え、違った視点でもう一度見直し、発表することでその課題を整理していま



す。先輩方の体験談を聞くこともとても参考になります。ゼミの後は「次のゼミまでにはこの課題の解決策にチャレンジしてみよう」「この課題は絶対に克服したい」という意欲がわいてきます。これからも広い視野で物事を考えることができる教師になれるよう研究を続けていきたいと思えます。

鈴木先生の豊富な話題にいつも引き込まれます



鈴木正敏 すぎき・まさとし

愛知県出身。平成元年、兵庫教育大学大学院修了。米国ウィスコンシン大学オークレア校修士課程、マジソン校博士課程を経て、7年、学校教育研究センター講師となり、14年、同助教授に。19年、大学院准教授に就任。最近の著書は「保育者論」(同文書院・16年刊)「教育課程・保育計画総論」(ミネルヴァ書房・19年刊)など。

なかしま まみ 中島真美さん

大学院修士課程小学校教員養成特別コース1年

先生から学生たちへ



教育現場を訪ねるたびに子どもたちから何かを教わります。教員として日々、子どもたちの中に何を育てたいかを考え、その思いを胸に抱いて子どもにかかわることの大切さを感じます。教育の営みには教える者、教えられる者を超えた学びがあるようです。

子どもたちは何事に対しても「できない」と言われれば言われるほど、学びたい、できるようになりたい、人の役に立ちたいという思いが強くなります。大人もそうですよね。子どもたちも一人一人に人生の過去と未来があり、生きる意味を探し求めています。学生の皆さんは大きな視野に立つことで、子どもの一挙手一投足に込められたメッセージを読み取ることができるよう。



卒業生からの手紙

子どもから多くのことを学んだ教員1年目

「はじめまして!」。教員になって初めての新学期の思い出は今も強く心に残っています。「この先生、一体どんな先生なんだろう」という好奇心いっぱいの表情を浮かべる子どもたち。ここから4年2組の1年が始まりました。3学期も残りわずかとなりましたが、新米教員の私はこれまでに子どもたちから多くのことを学んできました。

1学期の終業式。子どもたちに「先生のあゆみ通信」を書いてもらいました。その中で、とても印象に残っているのが、1学期を最後に転校する女の子が書いた「先生はもっと子どもといっぱい遊んだ方がいいよ」の一文です。私は休み時間にできるだけ子どもたちと遊んでいたつもりでした。しかし、その子にとっては不十分だったようです。よく遊んでいる方だと勝手に思い込んでいた自分が恥ずかしくなりました。十分かどうかは子どもたちが感じとることであり、私が決めることではないのです。

子どもたちから学ぶことは本当にたくさんあります。それを今後どう生かしていくかが、私の課題です。リアルタイムで子どもの成長を見ることができる幸せを感じながら、日々精進。これからも頑張ります!

ふじわらのりこ
藤原規子さん

加東市立滝野東小学校教諭



小野市出身。平成19年3月、学校教育専修幼年教育系コースを卒業し、4月から加東市立滝野東小学校で4年生を担当。学級目標は「かがやき」。一人一人の子どもの良さ、学級の良さがキラリと輝くクラスをめざしている。

授業中の子どもたちの反応から学ぶことも多いです



とがわ さだ あき
戸川定昭さん

和歌山県教育庁指導主事

和歌山県出身。和歌山県の公立中学校に勤務した後、平成15年、大学院修士課程言語系コースに入学。英語教授法の研究に取り組む。17年から和歌山県教育庁の指導主事に就任。

和歌山県教育庁の指導主事となって3年目。現在は、主に英語教育と道徳教育にかかる仕事をしています。研究指定校や市町村教育委員会から依頼を受け、小中学校の研究授業や公開授業を参観。学習指導要領の内容に基づき、実例を挙げながら、課題や改善点についての指導、助言を行います。最近、小学校の英語活動に関する業務が多くなりました。子どもたちが簡単な英語を使いながら生き生きとコミュニケーションを取る姿に勇気づけられたり、英語教員の免許状を持たない小学校の先生が一生懸命に指導する姿にエネルギーをもらったりしています。

和歌山県では小学校英語活動研究指定事業や地方分権研究会6県共同開発教材モニター校事業を実施しており、平成17年度からすべての小学校が英語活動に取り組んでいます。新しい学習指導要領では外国語活動(仮称)が高学年で必修になるようですが、これからは県内の学校でより充実した外国語活動が実践されるようにサポートしていきたいと考えています。私が児童生徒を直接教える機会はありませんが、和歌山県の子どもたちが言葉と人とのかわりを大切にしながら、さまざまな人々とコミュニケーションできる人間に成長してもらえよう、私自身も切磋琢磨しながら業務を遂行していきたいと思っています。

小学校の英語活動を充実させたい

英語教員研修講座で指導法について講義



スポット・ライト



しばた かおり
柴田香織さん

学校教育学部教育臨床系コース4年

姫路市出身。平成16年、学校教育学部教育臨床系コースに入学。19年、「第40代姫路お城の女王」に選ばれる。学業の傍ら、姫路の観光PR役として全国のイベントなどに参加。趣味は海外旅行。身長168センチ。

すらりとした長身、澄んだ瞳、健康的な笑顔。柴田香織さんは昨年8月、姫路の観光PR役を務める「第40代姫路お城の女王」に選ばれ、全国各地の観光キャンペーンなどに参加しています。

「大学1年の時に播磨国総社で福娘をさせていただいたのが縁で、神社の方から「女王に応募してみないか」と薦められました」

「灘のけんか祭り」の地元で生まれ育ち、現在も実家から通学しています。子どものころから小学校の教員を夢見てきましたが、「教壇に立つ前にさまざまな経験を積んでおきたかった」とも。大学入学後は海外への短

姫路の魅力を 全国にアピール 各地のイベントに ただ今奔走中

●姫路お城の女王とは

姫路お城まつり奉賛会が姫路の観光PR役として昭和35年から募集。対象は姫路または播磨地域に在住、在勤、在学の18歳以上の女性。毎年3人が選ばれ、夏の姫路お城まつりのオープニングイベントでデビューします。以降、翌年の同まつりまで観光キャンペーンなど全国各地のイベントに参加します。柴田さんは58人の応募の中から選ばれました。



昨年11月、好古園(姫路市)で開かれた茶会では案内役を務めました



昨夏のお城まつりでデビュー。「姫路は人情味がある街。多くの人に城や祭りの素晴らしさを伝えたいです」



国際ミーティング・エキスポでは外国人にも姫路をPRしました

期留学を経験。外国人に日本の文化や姫路城を紹介することに喜びを感じたのも女王に応募する動機になったそうです。

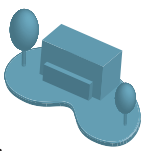
任期は今夏の姫路お城まつりまでの1年間。女王に選ばれた時点で昨年8月の教員採用二次試験の受験を見送り、任期を全うすることを決めました。

「お城の女王の活動は今しかできないこと

ですから。卒業後は観光PRと並行して、キャンパ活動などのボランティアにも取り組みたいです」

昨年12月には、東京で開催された「国際ミーティング・エキスポ」に参加。国内外の旅行会社などに姫路の魅力や利便性を紹介し、国際会議やイベントの誘致を呼び掛けました。

「国際的な催しに参加させていただいたのは貴重なことです。女王に選ばれてからはたくさんの方の出会いがあり、いろんな年代の方とお話しする機会を得られました。この経験が将来、どんな形で生きてくるか分かりませんが、自分の人生で間違いなくプラスになると思います」



気に入ったメニューを写真で記録することも(筆者撮影)



これに夢中!



たけうち ゆう すけ
竹内優介さん

大学院修士課程
小学校教員養成特別コース1年



カフェ巡りには手帳とカメラ、愛読書が必需品

休日は手帳を片手に カフェ巡り 将来は自分の店を

僕の夢は小学校教員になること、そして退職後にカフェを経営することです。日ごろ、地元神戸のカフェを巡り、食事をしたり、写真に撮ったり(もちろん了承を得て)しています。店内の構造や食事の味付け、メニューなどを手帳にメモすることもあります。

僕が思い描く理想のカフェは、いわゆる隠れ家的存在の店。学生時代、何気なく立ち寄った店に心引かれ、その独特の雰囲気魅了されました。客と自然に会話し、悩みがあれば相談に乗る。そんな人と人のかかわりの大切さもカフェで気づかされました。

将来、小学校教員として子どもたちに「ゆとり」と「人間関係の大切さ」を伝えたいと考えています。そして、いつかは「隠れ家カフェ」を経営したいですね。

Congratulations

人の心の中に 深く入り込むような 作品を描き続けたい

シェル美術賞2007入選



やまもと なほこ
山本奈穂子さん

大学院修士課程芸術系コース2年

今回の入選で、多くの人に自分の作品を見てもらえたことをうれしく思います。私にとって絵を描くことは自分自身と向き合うことであり、大切な人を思うことであり、自然や社会、世界について考えることでもあります。絵画は人と私、自然と私、世界と私...と、たくさんものと私をつないでくれます。音楽や文学と同様に人の心の深いところまで入り込む強いパワーを持っている、と信じています。

生きることは生むことです。思い、愛情、つながり、命...それらは今この瞬間にも、世界でたくさん生まれています。



入選作品「重なる」
(145.5cm×145.5cm
油彩・キャンバス)

す。私は日々の小さな発見を拾い集めながら、自分のお腹に溜めていきます。お腹に溜まったそれらは、時には未熟なままで、時には完全な状態で、私から飛び出し、言葉やものの形になります。目に見える世界も私の中で育つ世界も、すべてが現実で虚構ではありません。キャンバスに向かっているとき、とろとろの油絵の具は私の触覚を誘惑します。それらを媒介にして「生まれる」ことを形にできたらと考えています。

【文化・スポーツ部門受賞者】
平成19年秋・冬

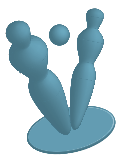


第57回加古川市美術展
加古川市、
財加古川市文化振興公社主催
▶彫塑の部議長賞
王明明さん
(大学院修士課程芸術系コース<美術>2年)

2007年度
関西学生バスケットボールリーグ戦
4部リーグ

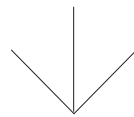
▶最優秀選手賞
兼近健太郎さん
(学校教育学部生活・健康系コース3年)

▶優秀選手賞
加藤達也さん
(学校教育学部言語系コース1年)



うれしの交差点

～兵庫教育大学と地域の交流ページ



ルポ

加東市「留学生人材バンク」



↑→陳さんと春蘭さんはともに民族衣装に身を包み、太極拳と馬頭琴の演奏を披露しました

昨年7月、加東市が創設した「留学生人材バンク」。兵庫教育大学の留学生に得意分野を登録してもらい、国際交流を希望する市民団体に留学生を紹介するというシステムです。



人材バンクが懸け橋となって 留学生と市民との交流を促進します



←大勢の人が訪れた国際交流ブース

昨年11月3日、4日に社中央公園（ステラパーク）で開催された「加東市菊と文化のフェスティバル」。4日は兵庫教育大学の留学生たちが会場の盛り上げに一役買いました。ステージでは陳昱龍さん（中国・特別聴講学生）が太極拳、春蘭さん（中国・修士課程1年）が馬頭琴の独奏、マリウム・ベヌーデイさん（イラン・修士課程2年）がペルシャ語の歌などを披露。「国際交流ブース」では水餃子を振る舞ったり、民族衣装を持ち寄って試着会を開いたり。来場者には積極的に日本語で話し掛け、親交を深めました。

フェスティバルに参加した留学生は中国、フィリピン、インドネシア、イランの4カ国26人。彼らは加東市が昨年7月1日から始めた「留学生人材バンク」に登録しています（全登録者は39人）。市企画政策課が窓口となり、留学生に語学や料理など自分の得意分野を登録してもらい、市内の団体から留学生との交流の希望があれば紹介するというものです。

「以前から、市民の留学生との交流を望む声は高く、一方、留学生の中にも民族衣装や楽器を持参し、日本人に母国の文化を紹介したいと考える人は多くいます。人材バンクは留学生と市民の懸



学術情報 リポジトリ“HEART” 3月から正式運用を開始

学術情報リポジトリとは研究者が作成した学術研究成果物（論文や学会発表資料など）を所属する機関のサーバーに組織的に収集・保存し、ネット上に広く公開するシステムです。HEART (Hyokyo Educational and Academic Resources for Teachers)は兵庫教育大学の学術情報リポジトリの愛称で、3月末から運用がスタートします（現在は試験中）。

HEARTは大学教員が執筆した学術論文や研究紀要、学生の学位論文、教材などの研究成果を永続的に蓄積し、誰でも無料でアクセスできます。また、教職大学院の連携協力校や文部科学省指定の研究開発校、兵庫県内の指定研究校の報告書など、各地の学校現場から生まれた教育実践の研究成果も広く収集し、全国の学校現場に還元していく役割も担います。HEARTは学術情報の流通の“心臓”として、心豊かな教員の育成をバックアップしていきます。



◆HEART
<http://repository.hyogo-u.ac.jp/dspace/index.jsp>

兵庫教育大学 教育研究振興基金へのお願い

兵庫教育大学では、今年10月に創立30周年を迎えるにあたり、「兵庫教育大学教育研究振興基金」を設立しました。この基金は、広くみなさまのご協力を得ながら教育研究の充実を図り、社会から信頼される教員を養成するという使命を一層果たしていくことを目的としています。昨年に募金活動を開始して以来、修了生、卒業生、在学生、保護者、近隣市町、関係企業、教職員OB・OG、教職員など多くの方にご支援をお願いしています。募金は9月30日まで受け付けています。

◎寄付の申し込み、問い合わせ

兵庫教育大学教育研究振興基金事務局
(総務部総務課秘書室)

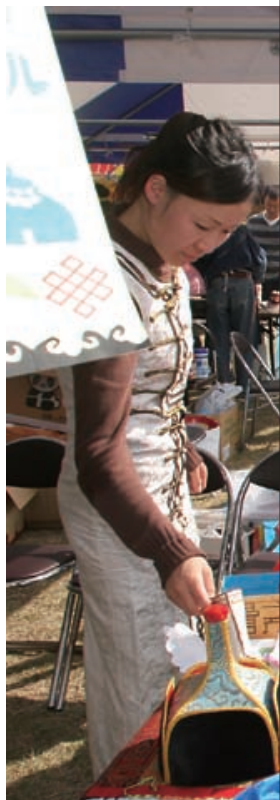
☎ 0795-44-2333 ☎ 0795-44-2009

✉ office-hisyo-r@hyogo-u.ac.jp

<http://www.office.hyogo-u.ac.jp/gen/kikin/index.html>

Ureshino Scramble

民族衣装の試着会も好評でした→



留学生人材バンクの活用実績

- 7月 社小学校／授業参観、児童との給食や掃除を体験
- 9月 東条西小学校／運動会に参加
- 11月 加東市国際交流協会／加東市菊と文化のフェスティバルに参加。ステージで民族芸能を発表。ブースでは民族料理の屋台、民族衣装の試着会など
加東市教育委員会／東条西小学校での“まるまる教室”でフィリピンの遊びや中国語などを披露
滝野児童館きらら／インドネシアの留学生が誕生会で民族楽器アングロンを演奏
- 12月 西古瀬地区／中国内蒙古自治区の留学生が民族舞踊や馬頭琴演奏を披露。ゲルや遊びなど母国での生活を紹介
加東市国際交流協会／クリスマスパーティーに出席。アトラクションも
- 1月 加東市・市教育委員会／「人権を考える市民のつどい」のオープニングアトラクションとして、フィリピンの踊りとインドネシアの歌を披露
加東市国際交流協会／国際料理教室で韓国の留学生がチヂミとキムチ鍋を指導
- 1～2月 滝野東小学校／2、3年生の総合学習に中国、韓国、フィリピンの留学生が参加。母国の紹介や言葉の指導など(全3回)

◎人材バンクについての問い合わせ

加東市企画政策課 ☎ 0795-43-0386

け橋になればとの考えから生まれました」と話すのは同課の藤原優子さん。

人材バンク活用の第1号となったのは市立小学校。バンク創設から2週間後、留学生を招いて授業参観と給食会を実施しました。児童と給食を共にした陳さんは「日本の子どもたちは元気で優しい。これからは自分の得意な武術を生かして日中の体育授業の交流もできればいいですね」と語ります。

加東市は平成18年3月、社、滝野、東条の3町が合併して誕生しました。「旧社町の人にとって兵庫教育大学は身近な存在ですが、滝野と東条の人にも地元の大学という意識を持っていただければ。地方都市でも国際交流の場をつくりやすいのは、大学があればこそですから」と藤原さん。

兵庫教育大学にとっても人材バンクの制度は地域貢献の一つのかたちであり、留学生の貴重な学びの場になると期待しています。

◎平成20年度
大学院学校教育研究科
第2次学生募集

◀修士課程▶

◎学生募集人員

▶学校教育学専攻		
教育コミュニケーションコース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
幼年教育コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
学校心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
臨床心理学コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
▶特別支援教育学専攻		
心身障害コース		若干人
特別支援教育コーディネーターコース		若干人
▶教科・領域教育学専攻		
言語系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
社会系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
自然系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
芸術系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人
生活・健康・総合内容系コース	昼間クラス	若干人
	夜間クラス	若干人

◀教職大学院(専門職学位課程)▶

◎学生募集人員

▶教育実践高度化専攻		
学校経営コース		8人
授業実践リーダーコース	昼間クラス	6人
	夜間クラス	若干人
心の教育実践コース	昼間クラス	5人
	夜間クラス	若干人
小学校教員養成特別コース		若干人

◎出願期間 2月21日(金)～26日(金)(必着)

◎試験日 3月9日(日)(筆記、口述)

◎合格者の発表 3月19日(金)16:00

※昼間クラスと夜間クラスのあるコースは昼夜開講制です。昼間クラスは加東キャンパスで、夜間クラスは主に神戸サテライト(神戸市中央区)で開講します。

※言語系コースには国語分野と英語分野、自然系コースには数学分野と理科分野、芸術系コースには音楽分野

と美術分野があります。

☎入試課 ☎0795-44-2067

◎大学院学校教育研究科説明会

大学院学校教育研究科(修士課程、教職大学院)の教育課程や専攻・コース改革などの概要について説明します。個別相談の時間も設けます。

◎日時 2月9日(土)13:30～15:00

◎場所 神戸市総合教育センター7階

☎企画課

☎0795-44-2156、2307 ☎0795-44-2009

✉office-kikaku-k@hyogo-u.ac.jp

◎大学院入試相談室

大学院学校教育研究科への入学希望者を対象に入学に関する相談を受け付けます。

◎開設日 毎週木曜(1週間前までに要予約)

◎場所 神戸サテライト(神戸市中央区)

◎相談時間 30分程度

☎企画課

☎0795-44-2008 ☎0795-44-2009

✉office-kikaku-k@hyogo-u.ac.jp

◎北播磨地域学習フォーラム
「北播磨の魅力を拓く
—豊かな自然との共生—」

兵庫県北播磨県民局と兵庫教育大学が共同で推進している地域貢献事業「北播磨地域学育成事業」の一環です。北播磨の自然にかかわる団体による活動発表と意見交換を通して、自然との共生の方策、地域活動団体と学校教育の連携の方向を探ります。入場無料。

◎日時 2月16日(土)13:30～16:30

◎場所 加東市やしろ国際学習塾

☎兵庫教育大学地域交流推進センター

☎0795-44-2053

兵庫県北播磨県民局企画調整部

☎0795-42-9308

◎学部卒業演奏会

音楽コースの学生が4年間の研究成果を披露しま

す。入場無料。

◎日時 2月16日(土)14:00～

◎場所 兵庫教育大学講堂

☎芸術棟事務室

☎0795-44-2249 ☎0795-44-2259

◎兵庫教育大学美術展

学部生、院生、附属幼稚園・小学校・中学校の児童生徒による合同作品展です。入館無料。最終日にはギャラリートークも。

◎日時 3月5日(水)～9日(日)10:00～18:00

(最終日は15:00まで)

◎場所 原田の森ギャラリー(神戸市灘区)

☎芸術棟事務室

☎0795-44-2249 ☎0795-44-2259



◎教員就職率が
4年連続で全国第1位に

昨年12月14日に文部科学省から「国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)の教員就職率ランキング」が発表され、兵庫教育大学の19年3月学部卒業者の教員就職率は79.7%と4年連続で全国第1位に輝きました。兵庫教育大学では教員採用試験対策講座の開講、後輩へのアドバイスを含めた受験報告書の集約、就職の手引きの作成・充実などに力を入れており、それらも好成績につながった要因の一つといえます。ちなみに、国立の教員養成課程卒業者の教員就職率は前年比0.7ポイント増加の56.9%で、前年度並みの就職率を維持しています。

編 集 後 記

●今号をもちまして「教育子午線」の編集の任を終えることになりました。学力論争の行方、教育三法の成立、学習指導要領の改訂といった教育動向を見据えつつ、新専攻・教職大学院の意義や設立の経緯を伝える努力をしてきたつもりです。今後も一層充実した誌面で、兵庫教育大学の広報活動を推進されることをお願ひし、次の編集員にバトンを渡したいと思ひます。(は)

●本誌の取材で多くの学生と会話をする機会があります。彼らは多才で魅力的です。兵教大にはなんて素晴らしい学生がいるのだろうかとうれしくなります。彼らが卒業(修了)して教壇に立っても、キラリと輝き続けてほしいものだと思ひます。「教育子午線」のバックナンバーは大学ウェブサイトhttp://www.hyogo-u.ac.jpでご覧いただけます。(こ)

◎あなたの声をお聞かせください

「教育子午線」では、読者のみなさまの声を生かした誌面づくりをめざしています。はがきかメールでご意見、ご感想を寄せていただいた方には、オリジナル・シャープペンシルを進呈します。

●あて先: 〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

兵庫教育大学企画課広報・社会連携事務室

☎0795-44-2334 ☎0795-44-2009 ✉office-renkei-r@hyogo-u.ac.jp

教育子午線
Kyoiku-Shigosen

第16号 2008年2月発行

発行/兵庫教育大学 大学広報室

http://www.hyogo-u.ac.jp

編集協力/㈱神戸新聞マーケティングセンター